

2017 ABLE ART AWARD

～ 障害のある人の芸術活動を支援する～

「エイブル・アート・アワード2017」

募集部門

1

画材支援
の部

2

展覧会支援
の部

3

小さなアトリエ支援
の部

主催：NPO法人エイブル・アート・ジャパン

協賛・寄付(50音順)：花王株式会社(予定)、花王ハートポケット倶楽部(予定)、世田谷美術館さくら祭実行委員会、
ターナー色彩株式会社、フェリシモ基金事務局 [UNICOLART基金]、富士ゼロックス株式会社(予定)、
富士ゼロックス端数倶楽部(予定)、松田油絵具株式会社

特別協力：ガレリア・グラフィカ

協力：一般財団法人たんぼの家、エイブルアート・カンパニー

締切 | 2017.9.30 [土] | 必着

画材支援の部 (ターナー色彩賞)

森 大生さん (兵庫県神戸市)

高校3年生の夏休みスケッチブックとクレヨンを与えてみると楽しそうに描き始めました。単語の響きや文字の形が気に入ったものを書いています。今ははじめて手にしたアクリル絵の具絵を並べて遊ぶ日々ですが、ああ、確かに、並べて眺めているだけでも楽しいのかもしれない。この春から地域の就労事業所に通う生活が始まります。新しい生活の余暇活動として、楽しみながら少しずつ絵を描いていってくれたらいいなあと思っています。
(記入者: 森 真由 (森 大生さんの母))



画材支援の部 (マツダ賞)

特定非営利活動法人ヒーライトねっと (東京都江戸川区)

画材が増えた事により油絵にチャレンジするなど利用者の方たちの創作意欲が上がり多くの方に参加していただけるようになりました。私たちは新たにアートコンサルティングを導入し、展示の仕方等を学ぶなど今後の地域での活動の場をさらに広げていきます。これから具体化する予定ですが、まずは私たちに最も身近な平井駅周辺での活動をし、地域活動を通して“自尊心の回復”や“障害者理解の広がり”を促していくことが目標です。



展覧会支援の部

中村真由美さん (奈良県奈良市)

銀座という晴れやかな場所での展示に在廊された真由美さんは、自分の絵を見てとても嬉しそうでした。展覧会は新たなネットワークが生まれ3331アートフェアや横浜市民ギャラリーあざみ野での展示が実現し次の仕事の機会としてつなげることができました。そして何よりも真由美さん自身やご両親、まわりで支えるスタッフにとって真由美さんの表現がもつ力に気づくことができました。真由美さんは現在も変わらず、勢いを止めることなく制作を続けています。
(記入者: 鈴木 温 (奈良たんぼの家スタッフ))



受賞者の声

2016年度の受賞者から届いたメッセージの一部をご紹介します。

佐世保美術研究所 (長崎県佐世保市)

佐世保美術研究所は昨年55周年を迎え、そんな記念の年に受賞出来た事は、とても素敵なお褒めを頂いた気持ちになりました。イベントカラーの開封とセットを子供たちに任せました。箱を開ける瞬間のワクワクした顔の表情がなんとも嬉しかったです。セットが入っていた段ボールも余すことなく制作の材料と化していました。受賞をいただいた事により、なによりこの大切な場所をこれまで紡いできた事、これからも紡ぎ続ける自信ができました。



小さなアトリエ支援の部 アーピカル☆絵画教室 (大阪府大阪市)

これまでの活動に自信を持つことができ、アーピカル☆の結束力と将来に向けての意欲が高まりました。一番の想いはこれから10年、20年とアーピカル☆があり続けることです。また、(障害のある・なしに関わらず)誰もが心を開きのびのびと表現を楽しめる場が、たくさん増えていき皆が身近で自分に合った好きな場所に通えるようになるといいなあと思っています。いただいた支援金はそのためのPR活動や展覧会開催に活用したいです。

応募方法のご案内

応募締切:
2017年9月30日(土)必着

● 応募方法

1. 募集案内中面の「応募票」をコピーして必要事項を記入してください。
2. 代表的な作品の写真を10点以上添えてください。作品の写真1枚につき、A4サイズの用紙1枚を使用して、写真をのりで貼り、作品の作者名・タイトル・サイズ・素材・制作年を記入してください。(画集などを提出されても結構です)
3. 「**3**小さなアトリエ支援の部」の応募者は、活動の写真を3点以上添えてください。
*ご提出いただいた資料はお返しできませんのでご了承ください。

● 応募条件

- 「**1**画材支援の部」受賞者への画材の贈呈、「**2**展覧会支援の部」受賞者の展覧会の開催、「**3**小さなアトリエ支援の部」受賞者への資金の提供は2018年2月を予定しています。
- 応募作品は返却いたしません。
- グループやアトリエの応募に際しては代表者の同意を得たうえで応募ください。
- 応募作品または受賞作品は、主宰者または協賛者が実施する展示会、出版物などで展示・掲載・出版等されます。また、新聞、雑誌、テレビ、ウェブサイトなど広報活動、本アワードに関する報告資料・記録資料等に無償にて利用させていただく場合があります。
- ご記入いただいた個人情報に関しては、受賞の連絡及び個人を特定しない統計として利用させていただき、ご本人または代理の方の同意なしに第三者へ開示いたしません。また、受賞した場合には、受賞者の写真を氏名・年齢・居住地(都道府県まで)等とともに展覧会、ウェブサイト等において公開することがあります。

● 発表

選考は2017年10月中旬に行い、選考結果は10月下旬に郵送にてお知らせします。
NPO法人エイブル・アート・ジャパンのウェブサイトでも発表します。

● 応募先

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-11-14 アーツ千代田3331 #208
NPO法人エイブル・アート・ジャパン 「エイブル・アート・アワード2017」事務局宛

● お問い合わせ

NPO法人エイブル・アート・ジャパン
TEL. 03-5812-4622 FAX. 03-5812-4630 E-mail: office@ableart.org

エイブル・アート・アワード2017
ウェブサイト

*7月1日より「応募票」のダウンロードができます。

<http://www.ableart.org>

A B L E
A R T
J A P A N

エイブル・アート・アワード2017 募集のご案内

エイブル・アート・ジャパンは、障害のある人たちの芸術活動を支援するために、作家の発掘、作品発表機会の提供、サポーターの育成、著作権や所有権に関する整備などを行い、多様な表現が受容される社会づくりやアートを仕事につなげる仕組みづくりなどに取り組むNPOです。

活動のひとつとして、1998年から、障害のある作家の発掘と制作現場への資金的なバックアップを目的とした「エイブル・アート・アワード」を開催しています。

19回目となる2017年度も、作家として活躍する可能性を秘めた既成概念にとられない作品を発掘するとともに、アトリエの活動も応援します。

みなさんのご応募をお待ちしています。

審査員



小林敬生さん

版画家/多摩美術大学名誉教授

日本版画協会理事。日本美術家連盟運営委員。木口木版画を中心に制作・発表を続ける。高知国際版画トリエンナーレ審査員をはじめ、ソウル国際版画ビエンナーレ、バンコク国際版画・ドローイングトリエンナーレなどの国際審査員をつとめる。2006年、紫綬褒章を受賞。

昨年も申し上げたことですが、私は「アートにタブーはない」と考えています。

作品の審査に当り、心する事は“作品が何を訴えかけてくるか”を受け止めることだと考えています。〈作者の意図と作品が発するメッセージは必ずしも一致しなくても良い、作品は作品として屹立して（世の中で）生きていくのだから…。〉そうした観点から真摯に作品に向きあう作家たちの努力を、私たちは真剣に受け止めて評価したい。そう自分に言い聞かせています。



佐藤直子さん

横浜市民ギャラリーあざみ野学芸員

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団職員。横浜美術館学芸教育グループ(当時)、横浜市民ギャラリーを経て、2014年より横浜市民ギャラリーあざみ野勤務。フェローアートギャラリーのほか、「あざみ野コンテンポラリー」、「あざみ野フォト・アニュアル」などの企画展シリーズを担当。

審査にたずさわり今年で3年になりますが、毎回自分の知らなかった生きることと直結した切実な表現との出会いに驚かされます。

制作活動を始めたばかりの人、長らく作品制作を続けている人、様々な方の個性豊かで魅力的な作品をお待ちしています。エイブル・アート・アワードへの応募が、明日の制作の弾みになればと思います。



中津川浩章さん

美術家/アートディレクター/フリーキュレーター

国内外で、個展やグループ展多数。工房集・アール・ド・ヴィーヴル、2012-2014年度埼玉県障害者アート展アートディレクター、川崎岡本太郎美術館「岡本太郎とアールブリュット」展キュレーター、2016年ビッグアイアートプロジェクト、2015、16年東北障がい者芸術公募展選考委員等を務め、社会とアートの関係性を問い直しながら活動している。

障害がある方のアートも作品のクオリティだけでなくどのように見せるのかを考える時期に入ってきたとも言えます。残念ながら写真でしか私たちは作品を見ることができないため、実際の作品を想像しながら選考していくことになります。紙質を含めてできるだけよいプリントをしたものお送りください。このような積み重ねによっていつの日か障害者アートが普通にアートとして価値づけられることを夢見ます。



真住貴子さん

国立新美術館 主任研究員

東京芸術大学大学院修了。島根県立美術館、同県立石見美術館に学芸員として勤務。文化庁芸術文化調査官を経て、2015年4月より国立新美術館教育普及室長。

エイブルアート・アワードの審査の楽しさは、作家自らの手で作っていることが感じられることだと思う。それだけに選ぶのは困難なのですが……。今年も力作を楽しみにしています。

応募要項

1 画材支援の部

- マツダ賞 2名
- ターナー色彩賞 (個人) 2名 (グループ) 2団体

これから絵を描きたいと考えている人も、ますます活動に打ち込みたい人にも画材を提供します。

募集内容

応募資格

障害のある人で、絵画や立体造形などの創作活動を行っている、行おうとしている個人またはグループ。

支援内容

- マツダ賞 油絵具 1セット



MATSUDA

- ターナー色彩賞 (個人) アクリルガッシュ 20ml 36色セット (グループ) イベントカラー 550ml・スパウトパック BOXセット



ターナー色彩株式会社

表現活動をしたいという意欲ある個人またはグループであること。

選考基準

注意事項

2 展覧会支援の部

1名

国内外のギャラリーや美術館で発表し活動の飛躍をめざしたい人に、銀座/ガレリア・グラフィカ bis における展覧会の開催を支援します。

障害のある人で、絵画や立体造形などの創作活動を行っている個人。

個展の開催支援

- ギャラリーの借り上げ費用
- 展覧会の企画全般(作品の選定、額装、展示などの提案)を行うコーディネータの派遣費用
- 案内ハガキの作成費用
- エイブル・アート・ジャパン関係者へのPR、マスコミへのPR
- 展覧会開催に関する人的支援(展示・撤去作業、会期中のスタッフの配置)

個展詳細

会期: 2017年12月18日(月) - 23日(土) 6日間
会場: ガレリア・グラフィカ bis 東京都中央区銀座6-13-4 銀座S2ビル1階

galleria grafica bis

独創的で豊かな表現力に満ちた作品を生み出す作家であること。展覧会を開催するための作品数を所有していること。

額装費用、作品の搬送費用、作家や関係者の交通費など、上記以外の費用は作家側に負担していただきます。あらかじめご了解のうえ、ご応募ください。

3 小さなアトリエ支援の部

2団体

自宅でもなく学校・職場でもない第3の居場所‘サードプレイス’として、障害のある人が参加・活動できるアトリエを運営する団体に活動資金を提供します。

障害のある人が参加・活動できるアトリエ。個人や有志の運営するアトリエ。

活動費 30万円 × 2団体

UNICOLART

* この部門は、フェリシモ基金事務局 [UNICOLART基金] により開設いたしました。基金を通じて小さなアトリエネットワークをつくり、表現活動の活性化や次世代アーティストの育成に広がります。

次世代を担うアーティストを育成し、社会に影響を与える可能性のあるグループであること。

- 社会福祉法人やNPO法人などが社会福祉事業の支援費により運営しているアトリエは対象外です。
- 対象は【造形活動】を実施するアトリエとし、音楽、演劇、ダンス、文学、映画、ファッション、伝統芸能などのはのぞきます。

必要な枚数をコピーして、関連資料とともにご提出ください。

応募する部門の□に✓をつけてください。

個人の方の①と②の複数応募、グループの方の①と③の複数応募が可能です。

1.画材支援の部 希望する賞を選択してください マツダ賞 ターナー色彩賞(個人) ターナー色彩賞(グループ)

2.展覧会支援の部 3.小さなアトリエ支援の部

お名前(ふりがな) *グループの場合は施設名・アトリエ名など

年 生まれ

*グループの場合

年 設立

代表者名 *グループの場合のみ

住所 *グループやアトリエの場合は、代表者または所在地

〒

TEL

FAX

メールアドレス

作品内容

絵画 ・ 立体造形 ・ その他 ()

活動形態 *グループの場合のみ

法人施設内のグループ ・ 個人、有志の運営するアトリエ ・ その他 ()

活動場所

施設内スペースを使用 ・ 公的施設を借用 ・ 個人の所有スペースを使用 ・ その他 ()

活動の状況(個人の方は※印の部分のみご記入ください)

●創作グループの構成員 受講者人数()人 ・ 指導者(リーダー)人数()人 ・ ボランティア人数()人

●年齢構成※ ()歳 ~ ()歳

●障害などについて※ 身体障害者[視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・内部疾患]()人 ・ 知的障害者()人
精神障害者()人 ・ その他の障害者()人 ・ 健常者()人

●活動回数※ 1週間に()回 ・ 1ヶ月に()回 ・ その他()

●活動時間※ 1回あたり()時間

●活動の年間予算規模※ ()円

活動履歴(制作活動のきっかけやその後の活動履歴、出展歴や受賞歴などがあれば記入してください、添付でも可)

この募集をどのようにして知りましたか。あてはまる項目に✓をつけてください。

チラシ *どこで入手、どのように入手() ウェブサイト フェイスブック

その他()

代表的な作品の写真を10点以上、③小さなアトリエ支援の部の応募者は追加資料として活動の写真を3点以上添えてください。詳しくは裏面の応募方法をご確認ください。